

主題「組織の進化と活性化を図り、学校・家庭・地域と協働するPTA活動の推進」  
平成29年11月18日 阿久根市で学び合う

## 第一分科会

子ども参画シンポジウム  
(パネルディスカッション)

国内研修や交流事業に参加した小・中・高校生による子ども参画シンポジウムがありました。自分の住む地域や人とのつながりを大事にし、ふるさとのために、自分を生かしていききたいなど、夢をかなえる思いを堂々と発表しました。



発表者のみなさん

## 第二分科会

組織・運営

「つながりあるPTA活動を次世代へ」と題して脇本小PTAが発表しました。34年間続く遠泳大会は全員参加による運営改善や実行委員会組織による指導分担など、PTAの縦と横のつながりを大事にした活動でした。伊崎田中PTAは「校区教育力日本一」を旨とし、一小一中の強みを生かした合同部会、地域文化の継承、PTA活動を支える歴代PTA会長による育友会組織での取組についての発表でした。



第二分科会場

## 第三分科会

健全育成と地域活動

「学校や地域との連携を深め、子どもの体験や活

## 第四分科会

家庭教育

躍をサポートするPTA」と題し、学校と地区のコミュニティ協議会との共催での実践を再来小PTAが発表しました。年間2923人の観光者のガイドをしている子どもたちが、会場で実際のガイドを生き生きと発表する場面もありました。  
伊集院高校PTAは、生徒の健全育成のためにPTAと生徒のコミュニケーションを大事にした会員の認識の向上を図っています。ケータイ・スマホは、連絡と情報交換のみとし、意見交換は会って話し合うように心がけているとの発表でした。



第三分科会場

家庭教育の充実を旨とした大川内中PTAでは、ワークショップ型学級PTAを取り入れ、会員への意識調査を実施したりしています。親子のコミュニケーションや生徒や会員相互のつながりなどへの成果が上がっています。



第四分科会場

## 第五分科会

健康・安全

鹿児島聾学校PTAからは「情報端末機器を味方にして」と題して、聴覚障害のある子どもにとって大事なコミュニケーションと文字や言葉の理解へ情

報端末機を利用する取組が発表されました。目的を明確にし、親が子どもに使い方を理解させてから一人で使わせるという発表でした。  
「自立できる子どもを育てるPTA活動」を旨とし、心身の健全育成と安全な環境づくりに取り組んだ平尾小PTAは、「歩いて登校(歩育)」看板を設置したりして、子どものための環境づくりへの実践が発表されました。



## 講演会

「いのちの夢のコンサート」

弓削田健介氏の歌と阿久根小・中学校の子どもたちとの合唱を交えた講演は、会場が一体となり、和やかな雰囲気の中、「憧れが夢を育む。子どもたちのためにも、カッコいい大人でありたい。」と熱く話される言葉が印象的でした。



参加者の熱意と鹿児島島のPTA活動の頑張りに満ちた北薩大会は、必ずや来年の九州ブロックPTA研究大会へとつながっていくだろうと確信できる内容となりました。ありがとうございました。

## (アトラクション)



山下小学校「山下三尺棒踊り」



鶴翔高校和太鼓部